



早いもので、2022年も残りわずかとなりました。給食を毎日楽しみにしてくれている子どもたちが新年もわくわくした気持ちで登校してもらえるように、1月の給食だよりと献立表を少しばかり早くお届けします♪

★1月の献立より★

行事食 人日

1月7日は五節句の一つ、人日の節句です。日本では、正月の豪華な食事で疲れた胃を七草がゆで休ませる日とされています。

今年最初の給食では、人日の節句にちなみ、七草の一部を使ったやさしいお吸い物を用意します。



食育の日 セレクトメニュー

19日は食育の日です。昨年度に続き、セレクトメニューを実施します。

主菜に「エビフライ」か、「一枚肉を焼いた「ポークグリル」のどちらかを子どもたちに選んでもらいます。3学期が始まってすぐに、どちらにするかアンケートをとります。冬休みの間に楽しみながら考えておいてくださいね♪



全国学校給食週間

日本の学校給食は、明治22年に山形県にある私立小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために、食事を提供したのが始まりとされています。その後、全国各地へと学校給食が広がっていきましたが、戦争の影響で中断されてしまいました。戦後、子どもたちの栄養状態を改善するために、アメリカの団体の支援のもとで学校給食が再開されることになりました。そして、昭和21年12月24日に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」とし、冬休みと重ならない1月24日～30日の1週間を「全国学校給食週間」と定められました。

本校では学校給食週間の取り組みとして、地場産物を使う献立や給食の歴史を代表する献立などを予定しています。



全国学校給食週間の献立

(地場産物と練馬の給食メニュー)

- ・練馬の人参かきあげ
- ・豚肉のしょうが炒め (TOKYO X使用)
- ・東京牛乳

(昔の給食)

- ・あしたばと鶏肉のおつゆ
- ・マーボー大根
- ・コッパン
- ・くじらの電田揚げ